

環境レポート

2023



株式会社フロンティア・スピリット

株式会社エコロジカル・サポート

株式会社エコループ・トランスポート

株式会社フロンティア・スピリットE・P・S

株式会社環境科学

清水口建設株式会社

F r o n t i e r

I n t e r

N a t u r e

S y s t e m



フロンティア・グループの総力を結集した常に進化するリサイクルシステムで、『持続型資源循環社会』を実現します。

目 次

◇トップメッセージ 経営理念 経営指針 法令遵守と企業統治 中長期経営計画 売上・利益目標	P. 3
◇環境への取り組み 環境マネジメントシステム 環境負荷低減への取り組み 廃棄物3R実践協定(減量化) 汚染土壌対策・地中埋設物の除去 公害対策への取り組み 環境配慮型新事業場稼働	P. 7
◇リサイクルへの取り組み RC40-0 RPF 燃え殻 改良土(クリーンソリッド) 木質燃料チップ	P. 16
◇地域への取り組み ステークホルダーとのかかわり	P. 21
◇安全への取り組み 安全衛生活動	P. 25
◇フロンティア・グループの紹介 グループ企業概要 グループの歴史 グループ企業紹介	P. 27

編集方針

環境レポートは、2006年に初版を発行し、今回で10回目の発行となります。

このレポートは、お取引先や地域住民等のステークホルダーに対して、環境保全に関する方針、目標、計画、マネジメント状況、環境保全活動成果の報告、サステイナブルな社会実現に向けた取り組みを分かりやすくお伝えすることを目的としてまとめたものです。

今後も読みやすい、分かりやすいレポートとなるように研鑽を続けながら、定期発行を行っていく予定です。

このレポートを読まれた方々におかれましては、ご意見ご感想をいただきたく思います。そして、皆様と双方向のコミュニケーションを図っていただけるレポートにしていけたら幸いと考えております。

想定読者

お取引先、金融機関、行政、地域住民の方々を対象としています。

表紙

白馬連峰 (長野県北安曇郡白馬村)

松川から撮えた白馬連峰

対象期間

2021年～2022年

対象範囲

フロンティアグループ(6法人)

「持続型資源循環社会」実現に向け

邁進してまいります



フロンティアグループ代表
(株)フロンティア・スピリット 代表取締役
(株)フロンティア・スピリットE・P・S 代表取締役
横沢 英樹

平素より弊社の企業活動にご支援、ご愛顧を賜り誠にありがとうございます。また、本年も環境レポートをお手に取っていただいたことに対しまして重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活や経済が大きな困難に晒されている今日ではありますが、弊社では皆様のご協力を得ながら早期に感染症対策に取り組み、お客様も従業員も安心できる営業活動を継続させていただいております。また、医療従事者はじめ、感染拡大防止に携わるすべての皆様に感謝と敬意を表します。

前回の環境レポート2021公開後、長野県では、「長野県ゼロカーボン戦略（第四次長野県地球温暖化防止県民計画、第一次長野県脱炭素社会づくり行動計画）」、

環境省からは、「地域循環共生圏（日本発の脱炭素化・SDGs構想）」が発表されました。加えて、SDGs（持続可能な開発目標）に関する社会的な関心、取り組み要請は大幅に上昇し、弊社を取り巻く環境は日々変化していることを肌で感じております。

我々及び廃棄物処理業界はこれらの課題に対し、主体的に何ができるかを真剣に考える必要があります。

当フロンティアグループでは、その第一歩目として、令和3年9月(株)エコロジカル・サポートにて新焼却炉稼働、さらに(株)フロンティア・スピリット今井工場において、弊社の創業者である故横沢三郎の悲願であった新焼却炉を令和6年に稼働する予定でおります。当該施設は、既存の焼却炉以上に環境負荷が低く、次世代の循環型社会形成にとって必要不可欠な施設であり、地域の皆様および取引先の皆様の安心、安全に貢献できるものと考えております。

引き続き、地元住民の皆様との信頼関係の継続を最優先とし、より強固なものにするよう努めてまいります。

また、お取引いただいている皆様に対しましては、弊社が産業廃棄物の収集運搬・処分の両方を一貫して担うことができるワンストップサービス企業として、これからも安心して廃棄物処理をお任せいただけるよう、法令を遵守し、社会的責任を果たしてまいります。

結びに、本レポートにつきましては、当グループが社会から信頼され続けるために、現在のフロンティアグループの環境に対する取り組みを広く開示することが目的です。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見、ご指摘をお寄せください。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



廃棄物を「循環資源」と考える

フロンティア・グループの基本発想です。

私達は創造・改革・挑戦の信念をもって人間生活・

社会・産業・自然との共生を目指し貢献します。

■ 経営理念

フロンティア・グループは信頼・安心をコアに、地球資源である物質を無駄なく効率よく再生することによって資源循環型社会の構築に貢献出来る企業を目指します。

管 理

廃棄物管理・安全管理・環境管理・経営管理・IT管理あらゆる面での管理を徹底することを推進しています。

特に廃棄物管理が非常に重要な項目であると考えています。サンプル試験・契約管理・マニフェスト管理・安全衛生管理・品質管理を一貫して行うためのシステム構築が運用出来るよう、どの部署からでもクロスチェック出来る体制作りを行っております。

挑 戦

現在、環境関連事業を取り巻く状況は非常に変化が激しく多様化しています。フロンティア・グループでは、それぞれの会社の特色を有効に活用し、グループ内各社共有の「総合リサイクル事業」への展開を推進しております。

現 状

フロンティア・グループはお客様・地域住民の皆様方や業界等ステークホルダーの方々とのコミュニケーションが不足しないよう心がけています。その為のツールとして、このレポートを積極的に活用したいと考えています。

当グループの事業活動を公開し、より多くの方々とコミュニケーションすることによって事業に対するご理解と信頼を深めていただくことに重点を置いています。

■ 経営指針

経営指針として5つのキーワード《信頼性・情報開示・問題解決・リスク管理・統合》を基本にしています。このキーワードのもとに経営基盤の安定を図り、循環型社会形成の一翼を担うと同時に、お客様のご期待に応える満足度の高い企業を目指します。

信頼性

お客様との信頼関係をより強固なものにする為、関係法規制の遵守を第一とします。

情報開示

事業の透明性を確保し、知り得た情報を積極的に開示します。

問題解決

廃棄物処理・リサイクルビジネスをソリューションビジネスと捉え、お客様の抱える問題解決のお手伝いをします。

リスク管理

自社のリスク管理を万全に行うことでお客様のリスクを軽減します。

統 合

統合力による廃棄物処理ネットワーク構築による総合的サービスを提供します。

法令遵守と企業統治

■ 法令遵守(コンプライアンス)

フロンティア・グループは、経営指針で「法と社会的規範の遵守」を絶対条件として、事業活動を通じ、広く社会に優れた価値を提供していくことが存在意義であると掲げています。

「法と社会的規範の遵守」を絶対条件としているのは、社会で信頼を築いていくために廃棄物の処理法をはじめとする関連法規制を遵守する重要性を強く認識しているためです。

「法と社会規範の遵守」

- (1) 公正な活動「遵法精神」と「社会的良識」に基づく活動
- (2) 開かれた企業、適時性を持った企業情報の開示
- (3) 取引の透明性による正々堂々とした企業の活動

を実現するため、社員一人ひとりに対する徹底したコンプライアンス教育を行っています。

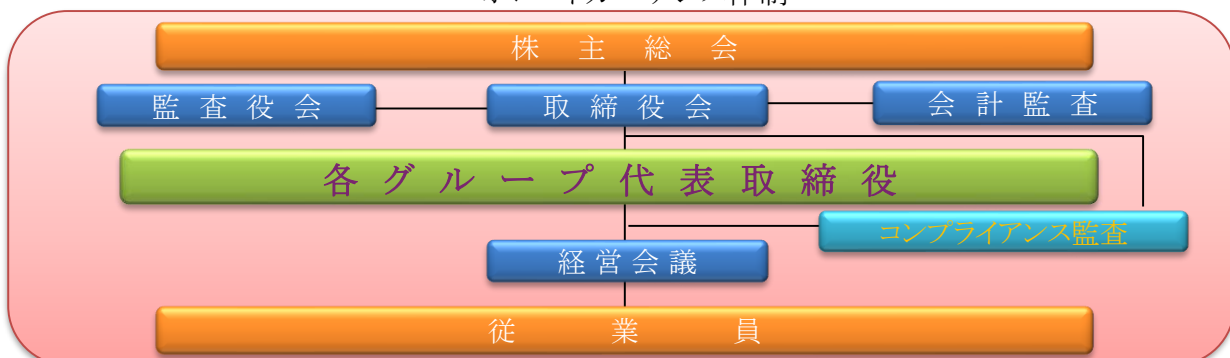
不法投棄をはじめとする廃棄物問題は、法規制が社会情勢に追いついていない現状もあります。私達は、自治体・関連省庁との協力関係を大切に、さまざまな法規制に積極的に対応し、社会的責任を果たしています。

産業廃棄物の処理責任は、最終処分されるまで排出事業者が負っています。私達は排出事業者から信頼され、安心して収集・運搬・処理を委託されるよう廃棄物の適正処理に努めています。排出事業者の負担を軽減し廃棄物処理が確実に実施されるために電子マニフェストにも迅速に対応しています。

■ 企業統治(コーポレートガバナンス)

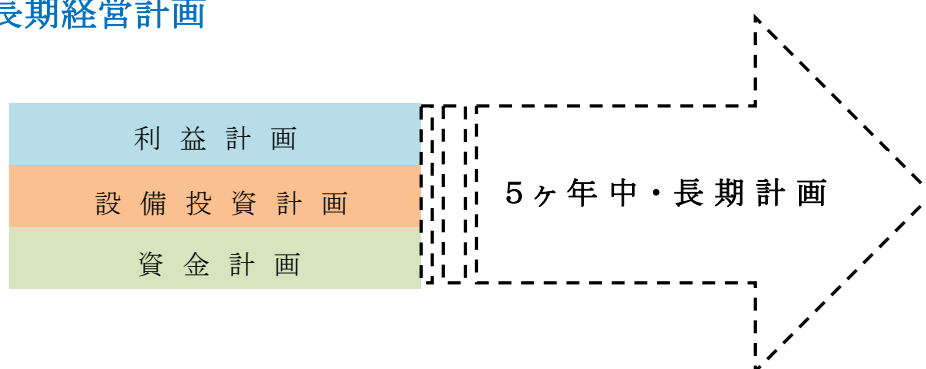
コンプライアンスを遵守した公正な企業活動を通じて、企業の信頼性及び企業価値の向上を図るとともに、コーポレートガバナンスを充実することで、フロンティア・グループの健全性、透明性の向上につながると考えており、経営体制の見直し、組織の改善等必要な施策を実践しております。

コーポレートガバナンス体制



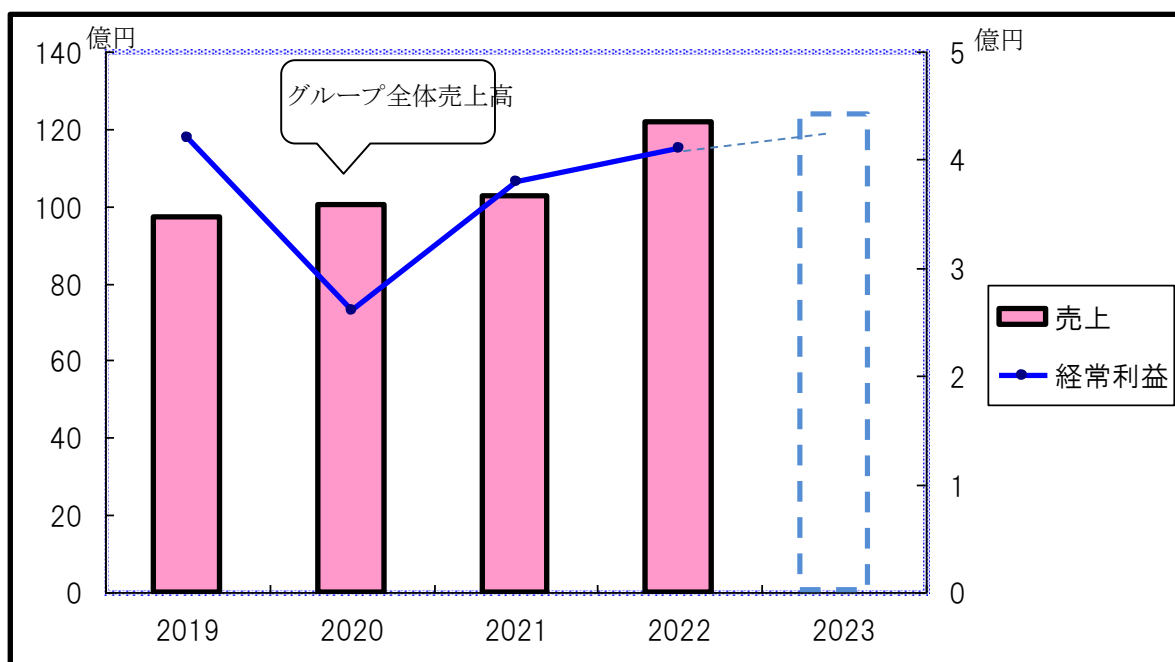
利益計画／資金計画／施設投資計画を相互に関連付け
5か年中・長期計画を策定し着実な経営を進めています。

■ 中長期経営計画



持続型資源循環社会におけるリサイクル工場を目指し、フロンティア・グループはトレードオフの関係にあるいくつかの重要な経営指標のバランスをとりながら経営をしています。
健全な経営を維持し、大切な資源としての廃棄物の恒久的活用を視野に入れ、リサイクル工場としての機能を維持向上させるには、多額の設備投資が必要となりますので、資金計画についても綿密な管理を行います。
各社・各部門ごとに詳細な中長期計画を立て、それらの積み上げとしてフロンティア・グループの中長期経営計画は構成されています。

■ 売上・利益目標



※ 中長期経営計画対象6法人
 (株)フロンティア・スピリット、(株)フロンティア・スピリットE・P・S、(株)エコロジカル・サポート
 (株)環境科学、(株)エコループ・トランスポート、清水口建設(株)

環境への取り組み

●環境マネジメントシステム

～～ フロンティア・グループ 環境方針 ～～

私達フロンティア・グループは、それぞれの事業の社会的責任(CSR)を強く認識し、最良の技術提供により 人・地域・自然・地球環境に優しい企業を常に目指し挑戦し続けます。

国際環境規格 ISO 14001:2015 登録証

登録証

登録組織: 株式会社 フロンティア・スピリット
本社

所在地: 長野県松本市大字和田4709番地

登録規格: ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015

登録範囲: 下記に係る事業活動
1) 一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物、廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥、炭石粉等)の収集運搬(産業廃棄物の積替保管を含む)、中間処理(焼却、破砕・切断、破砕、切断・圧縮、乾燥、圧縮、資源回収、資源回収)
2) 廃プラスチック、木くず、紙くず、及び繊維くずのリサイクル(RPF固形燃料)
3) 木くずのリサイクル(木質燃料チップ)
4) 繊維廃棄物のリサイクル(改良土製品)
5) がれき類のリサイクル(再生砕石)
6) 建築物解体

登録範囲に含まれる事業所: 付属書に記載

登録番号: E1457 更新日: 2021年12月1日
初回登録日: 2006年3月16日 有効期限: 2024年11月30日
更新決定日: 2021年10月28日

日本検査キューエイ株式会社
東京都中央区本町二丁目1番1号
代表取締役社長 菅野 良

付属書

登録組織: 株式会社 フロンティア・スピリット
本社

登録範囲に含まれる事業所(1/1):

本社: 長野県松本市大字和田4709番地
[本社管理業務、解体管理及び収集運搬活動]
今井事業所: 長野県松本市大字今井4957
[一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物、廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥、炭石粉等)の収集運搬、中間処理(焼却、破砕、切断・圧縮、及びがれき類のリサイクル(再生砕石))]
株式会社 フロンティア・スピリット E・P・S: 長野県塩田市大字金井731番地3
[産業廃棄物の収集運搬、中間処理(破砕・切断、破砕、乾燥、圧縮、資源回収、資源回収)、廃プラスチック、木くず、紙くず、及び繊維くずのリサイクル(RPF固形燃料)、木くずのリサイクル(木質燃料チップ)、繊維廃棄物のリサイクル(改良土製品)、及び建築物解体]
冠城工場: 長野県埴科郡冠城町大字南条795番地
[産業廃棄物の積替保管]

登録番号: E1457 更新日: 2021年12月1日
初回登録日: 2006年3月16日 有効期限: 2024年11月30日
更新決定日: 2021年10月28日

日本検査キューエイ株式会社

登録証

登録番号: ASR06
登録日: 2007年10月18日
更新日: 2024年06月29日
有効期限: 2024年06月29日
ASR登録番号: ASR06000001

株式会社エコロジカル・サポート
本社事務所
長野県松本市大字豊平1170-3

貴社の環境マネジメントシステムは、貴社の事業の輸送

JIS Q 14001:2015 (ISO 14001:2015)

の要求事項に適合していることを証明します。

＜登録範囲＞
産業廃棄物の収集運搬・中間処理
資源回収 資源利用事業

本証明書は、上記登録範囲のみに有効です。
本証明書は、環境マネジメントシステムが有効な事業所(登録)として維持されていることを証明するものではありません。
本証明書は、登録範囲外の事業所には適用されません。

ASR
ANAB
IAF

エイエスール株式会社
東京都中央区日本橋大伝馬町2-7
上級経営管理者
朝倉 善智

付属書 1/1

登録番号: ASR06
登録日: 2007年10月18日
更新日: 2024年06月29日

株式会社エコロジカル・サポート

本社事務所: 長野県松本市大字豊平1170-3 環境部 朝倉 善智
長野県松本市大字豊平1170-3 環境部 朝倉 善智
長野県松本市大字豊平1170-3 環境部 朝倉 善智
長野県松本市大字豊平1170-3 環境部 朝倉 善智
長野県松本市大字豊平1170-3 環境部 朝倉 善智
長野県松本市大字豊平1170-3 環境部 朝倉 善智

ASR
ANAB
IAF

エイエスール株式会社
東京都中央区日本橋大伝馬町2-7
上級経営管理者
朝倉 善智

環境への取り組み

★ マネジメントプログラムの推進

産業廃棄物を扱っているグループ会社にとって【P・D・C・Aサイクル】を運営することが社会的責任であり、維持し続けることが環境影響を最小限にとどめると考えております。

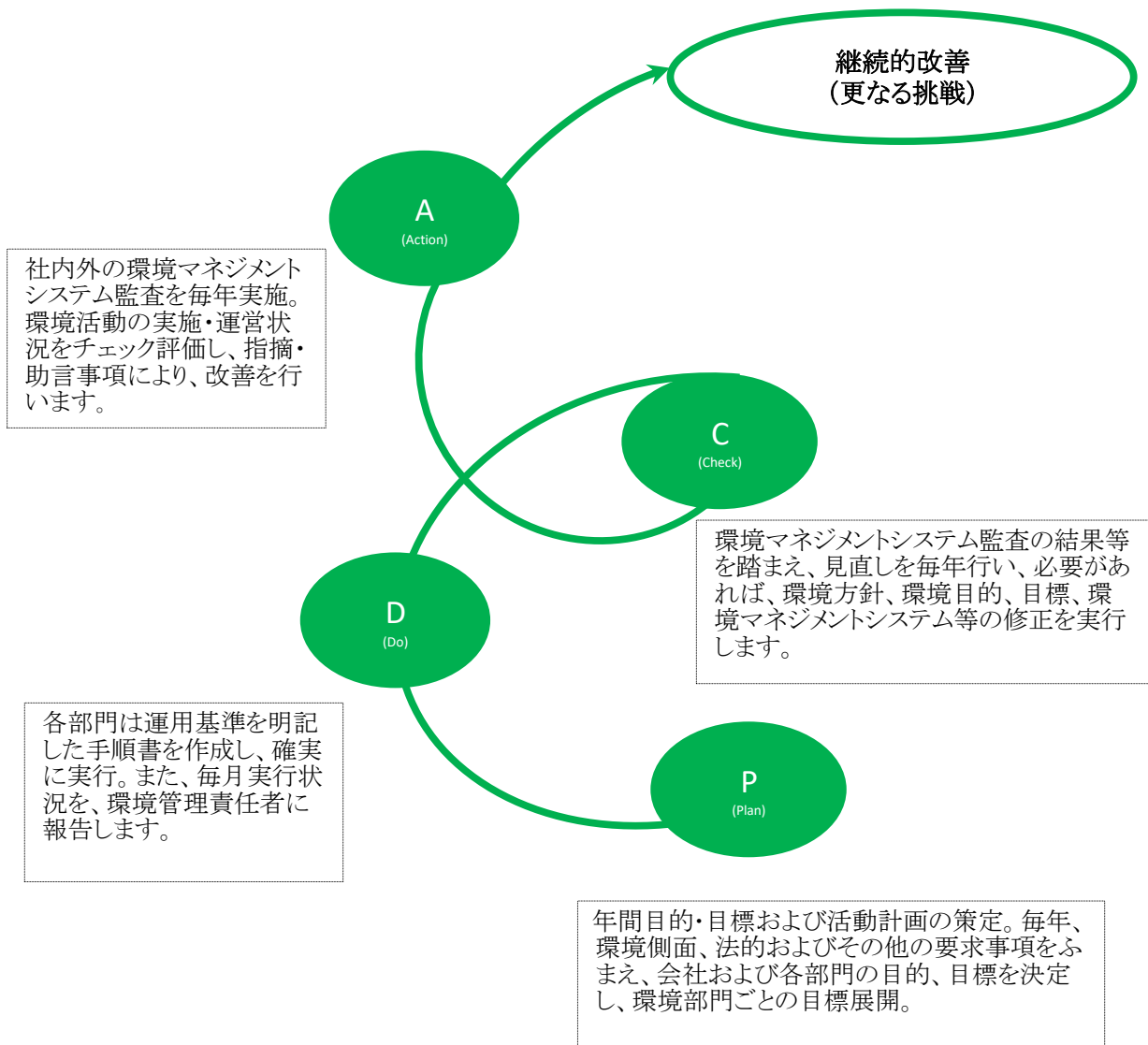
★ 環境経営の推進

私達グループ企業では環境保全に寄与し、企業の社会的責任を果たすべく、より高度で厳密な産業廃棄物処理と、リサイクルを実現できるよう努力を重ねております。

★ 環境経営推進体制の構築

私達グループでは着実な活動に向け、各グループ企業ごとに担当責任者をおき、環境マネジメントシステムの運用体制を構築しております。

又、定期的に取り組みの進捗状況の確認や目標設定を行うため、グループ各社ごとに環境推進委員会を設置しております。



環境への取り組み

●2022年度目標・成果と2023年度目標

★(株)フロンティア・スピリット(本社及び今井工場)

環境目的	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
省エネ・省資源・CO2削減	排出ガスの抑制・燃費の向上	収集運搬車両として平成27年度燃費基準達成車両5台導入 営業車の燃費目標全車達成	工場の重機、収集運搬車両及び営業車両の燃費管理・新規導入車両による低燃費化
職場環境の改善	工場内及び周辺環境の美化	毎月1回事務所周辺のゴミ拾いの実施 散水車による工場内及び周辺道路の清掃	本社及び今井工場の環境美化
	毎日の体調管理及び健康促進	毎日朝礼後に軽運動を実施及び毎朝の検温の徹底	本社内従業員の健康管理

★(株)フロンティア・スピリットE・P・S

環境目的	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
廃棄物適正処理の推進	リサイクル製品の品質向上と安定供給	産業廃棄物の再生利用	リサイクル製品の品質向上と安定供給
省エネ、省資源、CO2削減	社用車の燃費管理	全車両燃費目標達成	社用車の燃費管理
職場環境の改善	5Sの推進	工場周辺および解体現場における清掃活動、散水の実施	5Sの推進

★(株)エコロジカル・サポート

環境目的	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
環境負荷低減の推進	焼却炉排ガスのダイオキシン類排出4ng-TEQ/m ³ N以下 塩化水素500mg/m ³ N以下	検査2回実施(5月・11月)平均 DXN: 0.065ng-TEQ/m ³ N 塩化水素: 48.5mg/m ³ N	焼却炉排ガスのダイオキシン類排出4ng-TEQ/m ³ N以下 塩化水素500mg/m ³ N以下
法規制、条例や協定の遵守	近隣からの騒音・振動・悪臭のクレームゼロ	測定結果は規制値以下 地元町会へ定期活動報告	近隣からの騒音・振動・悪臭のクレームゼロ
環境保護の意識向上	美化活動と運搬・漏えい事故件数ゼロ	地域の清掃活動実施(2回)	美化活動と運搬・漏えい事故件数ゼロ

★(株)環境科学

環境目的	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
省資源活動推進	事務用品等グリーン購入適合品購入率70%	達成率70%	事務用品等グリーン購入適合品購入率70%
会社内外クリーン活動推進	車内のクリーン化5Sの実施 社内のクリーン化実施	週1回実施 事務所周辺実施	車内のクリーン化5Sの実施 社内のクリーン化実施
地域社会への貢献	地域中学生の職場体験	コロナにより未実施	地域中学生の職場体験

★(株)エコループ・トランスポート

環境目的	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
省エネ・省資源・CO2削減	収集運搬車両の燃費向上 ロスのない配車	平均燃費の良い車両の導入 タコグラフによる速度管理	収集運搬車両の燃費向上 ロスのない配車

★清水口建設(株)

環境目的	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
省エネ・CO2排出削減	事務所照明・エアコンの節電 重機・車両の低燃費化	エアコンの温度調整 重機・車両のハイブリッド化	節電による電力量の削減 重機・車両の燃費向上
職場環境の改善	事務所及び工場の環境美化	毎日朝礼後の清掃実施	事務所及び工場の環境美化

環境への取り組み

●環境負荷低減への分別解体

★環境負荷低減への取り組み

(1) 分別解体



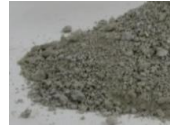
建設資材・木材・アスファルトコンクリートなど特定建設資材が廃棄物になった時に、量と経済性の両面から、リサイクルをするべき物品を特定建設資材に位置づけ、分別解体を行うことが環境負荷低減に繋がる考えのもと取り組んでおります。

(2) リサイクル化

～持続型資源循環社会形成への取り組み～

捨てればゴミになる
活かせば「資源」になる

リサイクル製品各種



(3) ソリューション解体



周辺環境や法規制、予算、工期など諸条件にあった複数案から最適のソリューションを選び出します。

(4) 防止対策
(騒音、振動、粉塵等)



オフロード法三次基準適合重機を使用し、古タイヤ等のアブソーバーを挿入し、常時散水の上解体します。

★保有機材一覧

機材名	台数(台)
バックホー(ハイリフト)	10
バックホー	63
フォークリフト	12
ショベルドーザー	6
タイヤドーザー	9
破碎機	9
移動式破碎機	4
移動式切断圧縮機	1

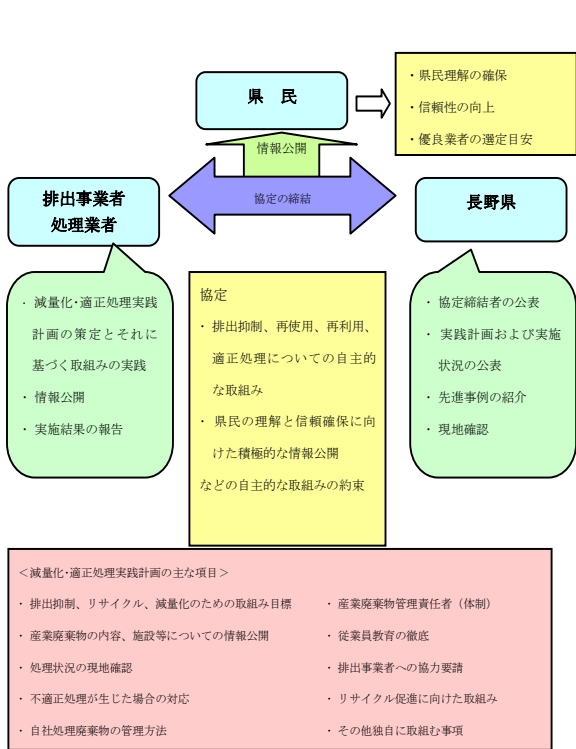
令和4年7月現在



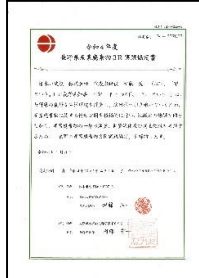
環境への取り組み

● 長野県産業廃棄物3R実践協定書（産業廃棄物減量化・適正処理）

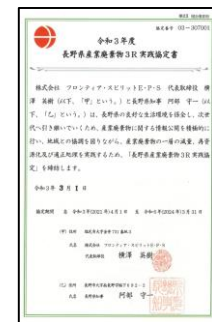
フロンティア・グループでは、産業廃棄物の処理・処分業者として、産業廃棄物の減量化・再使用・再生利用および適正処理等に関し自主的な取り組みを行うこと、積極的に情報公開することにより、県民の理解・信頼を確保するとともに産業廃棄物の処理水準・意識の向上を図るため、長野県産業廃棄物3R実践協定を以下の3社にて締結しております。



長野県産業廃棄物3R実践協定書
排出事業者用(清水口建設)



処分業者用
(フロンティア・スピリットEPS)



収集運搬業者用
(フロンティア・スピリット)



★ 目標達成状況

①リサイクル率目標値(中間処理)

廃棄物の種類	フロンティア・スピリット		フロンティア・スピリットE・P・S		清水口建設	
	当年度目標(%)	実績値(%)	当年度目標(%)	実績値(%)	当年度目標(%)	実績値(%)
がれき類	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
無機汚泥(協定外)	-	-	100.0	99.0	-	-
廃プラスチック類	-	-	95.0	90.0	-	-
木くず(協定外)	-	-	100.0	99.0	100.0	100.0
紙くず	-	-	90.0	78.0	-	-
繊維くず	-	-	85.0	61.0	-	-

②再生利用量目標値(中間処理)

廃棄物の種類	フロンティア・スピリット		フロンティア・スピリットE・P・S		清水口建設	
	当年度目標(t)	実績値(t)	当年度目標(t)	実績値(t)	当年度目標(t)	実績値(t)
がれき類	135,000.0	148,454.1	-	-	65,000.0	69,736.8
無機汚泥(協定外)	-	-	20,000.0	21,600.0	-	-
廃プラスチック類	-	-	2,000.0	2,210.0	-	-
木くず(協定外)	-	-	12,000.0	13,800.0	17,000.0	11,920.2
紙くず	-	-	500.0	610.0	-	-
繊維くず	-	-	300.0	340.0	-	-

※ がれき類は再生砕石、無機汚泥は第二種改良土、廃プラスチック類は固形燃料、木くずは木質燃料チップにリサイクルされます。

③最終処分量実績

廃棄物の種類	フロンティア・スピリット		フロンティア・スピリットE・P・S		清水口建設	
	当年度目標(t)	実績値(t)	当年度目標(t)	実績値(t)	当年度目標(t)	実績値(t)
燃え殻	2,000.0	1,797.5	-	-	-	-
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	-	-	200.0	220.0	-	-

期間 令和3年4月～令和4年3月

環境への取り組み

●汚染土壌対策

工場の解体跡地等で油や有害物質に汚染されてしまった土壌、または地中に埋設されていた廃棄物などの対策工事も手掛けています。

汚染物質の調査

サンプリング調査
分析(溶出・含有)
など



汚染範囲の調査

ボーリング調査
掘削調査
処理方法の選定
工程作成 など



汚染物質の除去

掘削除去
不溶化处理
化学反応
など

★汚染土壌対策施工状況



自走式土質改良機による無害化处理(不溶化)



地中埋設物の除去

環境への取り組み

●事業活動に伴う環境負荷対策

フロンティア・グループの主事業活動である産業廃棄物の中間処理における環境負荷に関する大気汚染物質について取りまとめて管理しています。

★焼却処理設備における大気汚染防止の取り組み

焼却施設を保有する(株)フロンティア・スピリット今井工場及び(株)エコロジカル・サポートでは定期的に焼却炉の排ガス中の有害物質を測定し、管理を徹底しています。

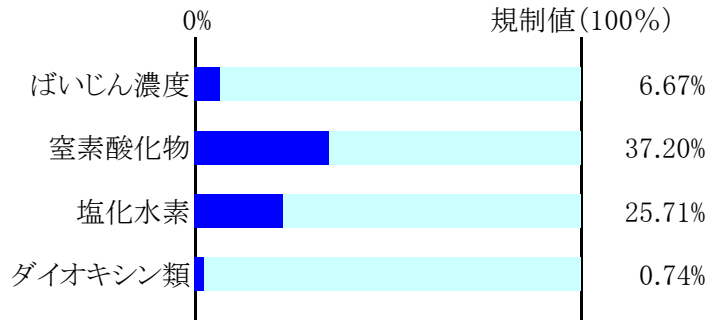
2022年度もダイオキシン類の測定結果を含め規制値を下回る結果となっています。

また、「分別」及び収集運搬・中間処理の前処理で発生する粉塵も大気汚染の原因となります。そこで処理工程の発塵箇所を特定するとともに散水等発塵しにくくする作業方法の検討や対策に取り組んでおります。

焼却処理設備では、廃棄物を完全焼却処理します。ダイオキシン対策としてガス処理や集塵処理装置を完備するなど、地球環境保護の視点に基づいた丁寧な廃棄物処理を行っています。

★大気汚染物質測定結果

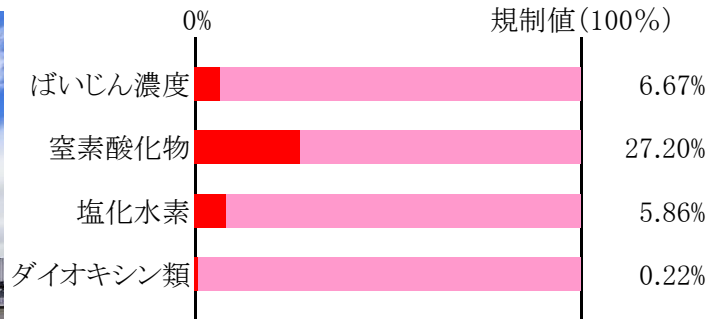
(株)フロンティア・スピリット 今井工場



項目	規制値	自主基準値	測定値	単位
ばいじん濃度	0.15	0.15	0.01	g/m ³ N
窒素酸化物	250	200	93	ppm
塩化水素	700	500	180	mg/m ³ N
ダイオキシン類	5	4	0.037	ng-TEQ/m ³ N

(令和4年6月)

(株)エコロジカル・サポート 焼却工場



項目	規制値	自主基準値	測定値	単位
ばいじん濃度	0.15	0.15	0.01	g/m ³ N
窒素酸化物	250	200	68	ppm
塩化水素	700	500	41	mg/m ³ N
ダイオキシン類	5	4	0.011	ng-TEQ/m ³ N

(令和4年5月)

環境への取り組み

★新事業場稼働による環境負荷軽減

(株)エコロジカル・サポートでは、2021年9月に新たな焼却施設を稼働させました。処理能力を従来施設の約2倍(31.2t/日)に引き上げ、注射針や薬品といった医療系産廃物を安定的に処分できる態勢を整備すると共に、一般廃棄物の焼却処分も受け入れ可能になりました。これにより廃農薬処分や今後は災害廃棄物の処理にも協力できるようになります。



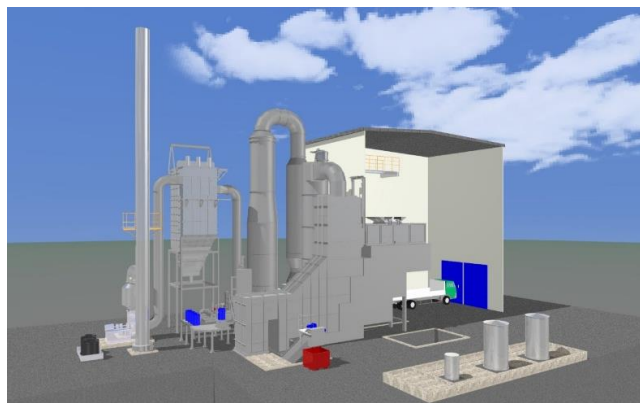
焼却炉本体

焼却炉全景

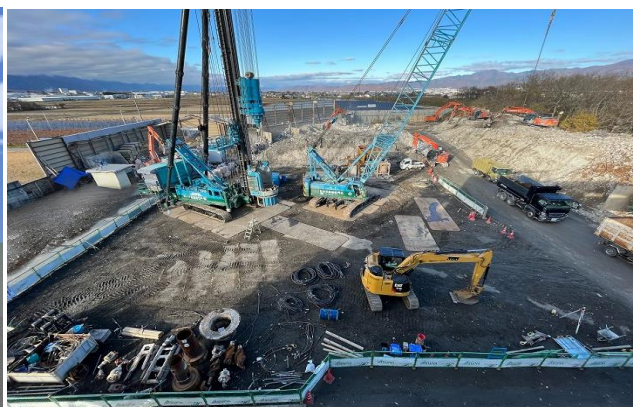


(株)フロンティア・スピリットでは、2024年1月の稼働開始を目指し、2022年9月に新焼却炉の建設を開始しました。

新焼却炉は、24時間稼働となり、1日の想定処理量は増加しますが、排出されるガスは、既存の焼却炉より環境負荷が低いものとなります。



新焼却炉完成予想図



2022年11月14日時点の今井工場の様子

環境への取り組み

★SDGsについて

フロンティア・グループのうち、(株)フロンティア・スピリット、(株)フロンティア・スピリットE・P・S、清水口建設(株)は、長野県SDGs推進登録企業となり、各目標達成について、積極的に取り組んでいます。

(株)フロンティア・スピリット



重点目標1

収集運搬車両の燃費基準達成車両の増加

2030年に向けた目標

燃費基準達成車両15%増加(2021年76.4%⇒2030年91.4%)

重点目標2

排気ガスのこれまで以上にクリーンな排出を目指し、現在の廃棄物処理施設(焼却炉)を新たな焼却施設へ入替する。

2030年に向けた目標

2030年までに入替を行う

重点目標3

継続的な人材育成のために各種資格取得支援制度の実施

2030年に向けた目標

資格取得支援数増加(2021 10件⇒2030 15件)

(株)フロンティア・スピリットE・P・S



重点目標1

リサイクル製品であるRPF-固形燃料の出荷量拡大

(化石燃料の燃焼に比べ、排出CO2を30%削減)

2030年に向けた目標

出荷量の50%増加(2020年2,500t ⇒ 2030年3,750t)

重点目標2

女性管理職比率を引き上げ

2030年に向けた目標

部課長への登用推進(2021年実績 23%)

清水口建設(株)



重点目標1

電気、燃料CO2排出量の削減(総排出量/売上高百万円)

2030年に向けた目標

2019年 1,461.23Kg-CO2より10%削減

重点目標2

女性管理職比率を引き上げる

2030年に向けた目標

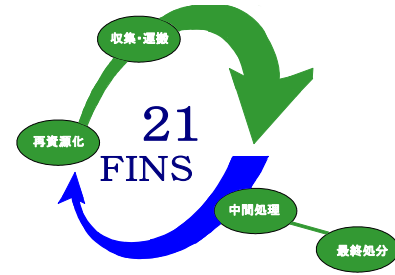
管理職への登用推進

リサイクルへの取り組み

「自然との共生」は未来への約束

私達は持続型資源循環社会への実現を

目指してして「FINS21」を進化させ続けます



★リサイクル製品まで流れ

～ 収集運搬車両 ～
フロンティア・グループは、
専用車両を多数保有し
ており、すべての廃棄物を
自社で責任をもって収集・
運搬しています。



～ 中間処理 ～

破砕・減容固化



破砕(木くず)



乾燥・固化



破 砕



～ 再資源化 ～

RPF固形燃料



木質燃料チップ



改良土製品(クリーンソリット)



再生砕石



リサイクルへの取り組み

★再資源化プラント

今井工場の1/3にあたる敷地内で、がれき類及び特定建設廃材のリサイクル化をすすめております。平成3年4月より操業開始(480t/日)し、平成8年から公共工事にも使用されております。平成17年には、当社の再生砕石が「信州リサイクル製品」に認定されました。

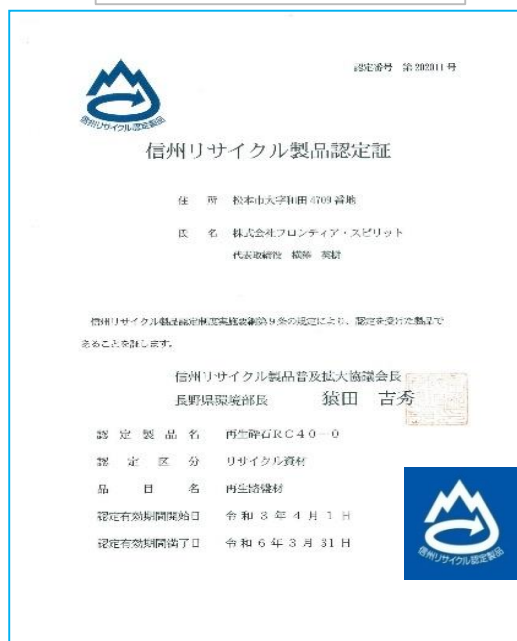
★再生砕石(信州リサイクル製品認定)

再生砕石(RC40-0)は公共工事等で広く使用されております。また、信州リサイクル製品に認定されており廃棄物のリサイクル化製品として、高い評価をいただいております。



RC40-0

信州リサイクル製品認定証



★廃棄物へのかかわり

《当社からの廃棄物》

企業活動を行っている以上、当社においても当然廃棄物は発生します。その主な内容は、選別機により除去された固形物や搬入容器であるドラム缶・ポリ缶他の混入された混合廃棄物です。当社は処分業者でもあり排出事業者でもあります。排出事業者責任がある以上、委託業者への処理確認を厳格に行っています。

《廃棄物管理と安全管理》

お客様の当工場へのお持込み・当社によるお客様への収集対応等による全ての廃棄物は検量台を通過し、誘導員により所定の置場へ降ろされます。多種多様化する廃棄物の徹底管理のもと、分別・選別を行い焼却物や再資源物等に区分します。

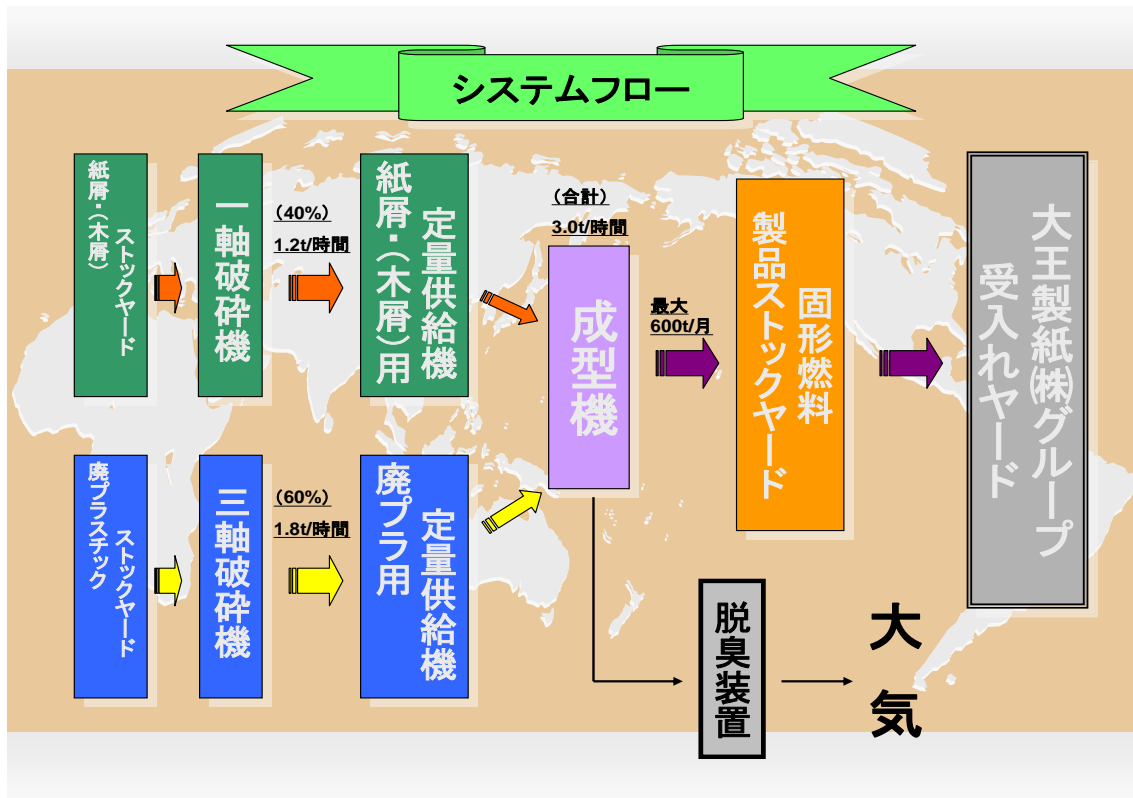
★再資源化等による環境負荷低減への挑戦

フロンティア・グループでは現在、埋立処分されている大量の焼却灰の再生利用に道を開き、ひっ迫する最終処分場の負荷の低減に挑戦します。

また、燃え殻、ばいじんの委託先であるツネシカムテックス(株)様では、焼成、薬剤による安定化に、セメントによる造粒の工程を加えることで、水やエネルギー使用量を抑制しながら、土木資材(人工砂)としてリサイクルしています。



1) RPF固形燃料



取締役 重野工場長

廃棄物を「エネルギー」として再生

RPF (Refuse Paper&Plastic Fuel)とは、廃プラスチック・木くず・紙くずを主原料に圧縮成型した固形燃料です。高カロリーで不燃物や水分が少ないため熱焼率が高く、温暖化排出ガスのCO2削減にもつながるため、化石燃料の代替品として高く評価されています。

私達は、この製品をボイラー燃料として製紙会社や製鋼会社に供給しています。

納品先にて発電された後の残渣は100%セメントの副原料や土地造成用として再利用されており最終処分場などでの埋立は一切行われておりません。



RPF固形燃料

RPF品質基準例

寸法	直径35φ 対角線長さで50mm以下
微粒径屑量	1mm以下の微粉末含有量は5%(重量)未満とする
含有水分	10%未満とする
低位発熱量	乾燥状態で5000kcal/kg以上とする
灰分	5%未満とする
硫黄	0.2%未満とする
塩素	0.2%未満とする
嵩比重	0.45kg/L以上とする

令和4年度 RPF資源化量
(2021.4~2022.3)
3,300 t

リサイクルへの取り組み

「汚泥」も大切な資源だから

地球と社会のためにしっかり活かしたい



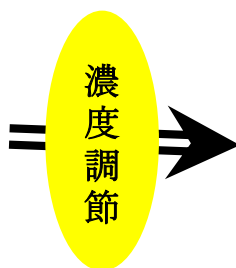
2) 改良土(クリーンソリット)

建設工事(杭打ち)などから発生する汚水や側溝清掃等から発生する汚水などを無機汚泥といいます。

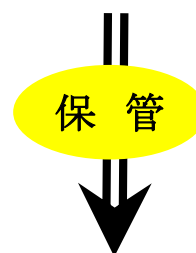
無機汚泥を乾燥・破砕処理することにより改良土として建設工事等にて再利用することが可能です。



保管施設



破砕・乾燥施設



改良土(クリーンソリット)
厳正な自社受入基準をクリアした汚泥(無機質)のみを乾燥<約60m³/日>・破砕<240m³/日>の後、土木建設業者に販売しております。



改良土製品(クリーンソリット)

令和4年度 改良土資源化量
(2021.4~2022.3)

21,600 t

温暖化対策にもなる

「廃材」の可能性を目覚めさせます



3) 木質燃料チップ

建設廃材、解体発生木材や事業所より発生する廃材を30～100mm前後に破砕し、木質燃料チップとして再利用されます。

木質燃料チップは、木質バイオマス発電用として使用され、発電された後の残渣はセメント原料として再利用されています。

処理施設



木くずの破砕により木質燃料チップを造り、大手製紙メーカー及びセメント会社に木質バイオマス発電の熱原料として使用されています。

木質燃料チップ



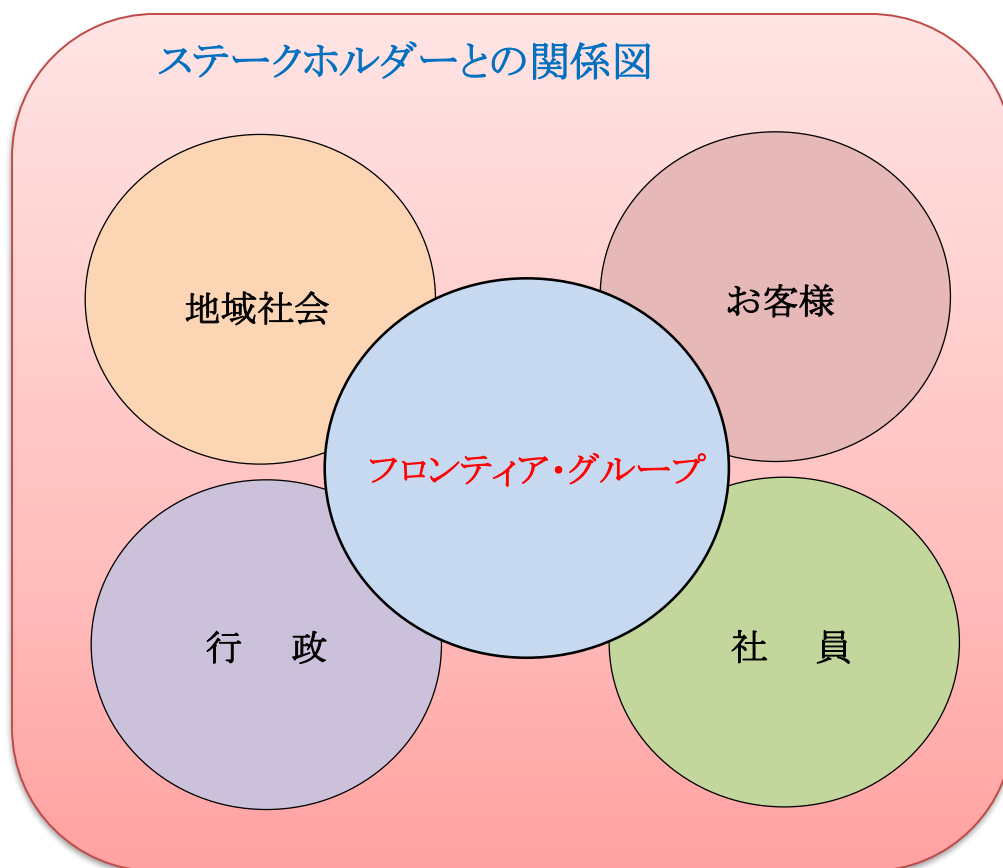
令和4年度 木質チップ資源化量
(2021.4～2022.3)
39,620 t

バイオマスとは・・・

「動植物から生まれた、再生可能な有機性資源」のことで代表的なものとして木くず・生ごみがあげられます。バイオマス中の炭素は、植物によって大気中のCO₂を増加させないため化石燃料に代わるエネルギー源とされています。

ステークホルダーへの取り組み

●ステークホルダーとのかかわり



※ ステークホルダーとは、利害関係者のことです。
地域住民・官公庁・金融機関、そして従業員も含まれます。

フロンティア・グループはステークホルダーの方々と密接な関係にあります。その方々に支えられ私たちは企業活動を行うことができます。

私たちが行っている産業廃棄物処理業は、特に地域の方々や行政のご協力が不可欠となります。産業廃棄物処理施設という”公共性”の認識を十分に持ち、企業活動を通して地域の皆様に貢献していきたいと考えています。

(1)内部統制により、環境負荷を軽減するだけでなく高度な廃棄物処理を行います。

(2)コンプライアンスの徹底を図ることが、企業の社会的責任を果たしていくと共にお客様、地域との良好な関係を築いていきます。

(3)関連する法令を十分に理解・遵守し、社会的責任を尊重して業務を行います。

ステークホルダーへの取り組み

★地域社会とのかかわり

当グループで産業廃棄物処分場を持つ、(株)フロンティア・スピリット、(株)フロンティア・スピリットE・P・S、(株)エコロジカル・サポート、清水口建設(株)では、お取引先様はもとより、地元の住民の方々にも積極的に情報開示するよう努めています。その実地確認の場として、定期的に地元見学会を開催しており、産業廃棄物を適正に処理している様子をご覧いただいています。



フロンティア・スピリットE・P・S地元見学会の様子



ごみゼロ運動



地域河川清掃

2003年から毎年5月と10月に国道・一般道周辺のごみゼロ運動を実施しております。また地域社会との連携による一斉清掃などにも参加させていただいております。

★お客様・行政とのかかわり

産業廃棄物処理の許可において、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する「優良産廃処理業者認定制度」があります。当グループでは、(株)フロンティア・スピリットと(株)エコロジカル・サポートにて産業廃棄物処分業及び複数の県での収集運搬業で優良認定を受けています。

優良認定を受けることにより、お客様が実地確認をする代わりに、行政が定期的にチェックをすることになり、お客様にとって実地確認の手間が省けるメリットがあります。

また、両社とも「産廃情報ネット」にて財務諸表や産業廃棄物の収集運搬・処分の情報を公開しているため、お客様がいつでもご覧いただくことが出来ます。

許可番号 2014036538

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 長野県松本市大字和田町9番地
 氏名 株式会社フロンティア・スピリット
 代表取締役 横沢 英樹
 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

長野県知事 阿部 守一

許可の年月日 平成27年12月26日
 許可の有効年月日 平成34年12月25日

書換交付 許可番号 2004100447

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 長野県松本市大字笹賀7170番地3
 氏名 株式会社エコロジカル・サポート
 代表取締役 村井 連峰

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

長野県知事 阿部 守一

許可の年月日 令和3年11月28日
 許可の有効年月日 令和10年11月27日

ステークホルダーへの取り組み

★社員とのかかわり

フロンティア・グループの社員全員がやりがいを感じながら仕事を行えるよう、2018年から「働く人たちの為の改革」を実施しています。

企業フォーカス 福利厚生改革第5弾
フロンティア・スピリット

社員の健康維持をサポート、資格取得や家賃補助の支援充実

2018年から「働く人達のための改革」と称する新制度の導入を進めている松本市のフロンティア・スピリット（横澤英樹社長）は8月1日、節目となる第5弾として、社員の健康維持をサポートする制度や、資格の取得支援、若手社員に対する家賃補助、住宅購入支援、誕生日を迎えた社員に祝い金を支給する制度を新たに導入した。社員の健康維持はもとより、資格取得や趣味教養を広げることで、仕事やプライベートの充実化につなげ、社員の社会や会社に対するエンゲージメントの向上を図ることが主な目的だ。

今回の制度導入では、同社がこれまで取り組んできた「家族も安心応援制度」と呼ぶ社員の健康維持を促すサポートが手厚くなった。

具体的には、健康診断や人間ドックの結果確認、有病者への受診勧奨、健康指導や二次審査の要否判断と実施、ストレスチェックなどを依頼・相談できるよう産業医選任契約を締結し、ライフログ（摂取カロリーや歩数、睡眠時間などを記録）や1日の健康スコアなどが管理できる健康アプリの導入（毎月2日と22日を稼働日として社員の健康を促す禁煙デーの実施）職場環境の改善や労働者メンタルヘルズ不調の未然防止に寄与する年に1度のストレスチェックの実施（健康診断の結果や、健康面の改善が見られる社員を表彰する「目指せAカラダ新制度」）の5つ、健康状態をスコア化し、改善や自己管理ポイントが高い社員に対して菓子をプレゼントするなど、ユーザーある取り組みとなる。

また、同社では「夢のその先へ応援制度」として、これまでの該当職種のカリヤに応じた施工管理技士や技能講習などの資格支援のほかに、会社が推奨する資格に限らず、あらゆる分野の資格取得やキャリア講座の受講費用の会社負担と最大200万円の取得一時金を支給する「資格取得支援制度」を新たに追加。若手社員に対しては「若手社員家賃補助制度」を導入。対象者は、県外や県内遠方地域出身の新卒社員および25歳未満の中途社員で、入社から最長5年以内かつ30歳未満としている。

さらに、「住宅購入お祝い金支給制度」として、取引から住宅やマンションを購入する社員に対して最大



新建JOHO

意欲引き出す社内制度第5弾
フロンティア・スピリット

産業廃棄物収集運搬処理などのフロンティア・スピリット（松本）

市和田（和）は、新たな技術の習得や知識の学び直しを推進する社内制度を新設し、このほど運用を始めた。従業員への意欲を引き出す後押しをする。

「生きがいづくりや自研さんにつながる民間通信講座などを使って各種資格の取得費用を会社が全額負担する。これまで家賃や業務に直接関係する資格は、

改革第5弾となる新設制度を周知するチラシ

「働く人達のための改革」第5弾、健康診断の結果が改善した人を評価する制度や、誕生日の祝い金支給など計9項目を創設した。（横内直美）

「働く人達のための改革」第5弾、健康診断の結果が改善した人を評価する制度や、誕生日の祝い金支給など計9項目を創設した。（横内直美）

「働く人達のための改革」第5弾、健康診断の結果が改善した人を評価する制度や、誕生日の祝い金支給など計9項目を創設した。（横内直美）

「働く人達のための改革」第5弾、健康診断の結果が改善した人を評価する制度や、誕生日の祝い金支給など計9項目を創設した。（横内直美）

この取り組みは信濃毎日新聞をはじめ地方紙・業界紙の計4紙で掲載されました

第1弾

- ・シフト休暇制度
- ・子育て支援制度
- ・新卒者の奨学金返済支援制度

第2弾

- ・家族も安心応援制度 その1
- ・疾病給付金支給制度

第3弾

- ・家族も安心応援制度 その2
- ・人間ドック無料受診制度
- ・オーダーデイオフ制度
- ・ノー残業デー制度
- ・インフルエンザ予防接種

第4弾

- ・家族も安心応援制度 その3（パパママ社員応援制度）
- ・育児勤務制度、子育て応援金の支給、育児目的の特別有給休暇の付与、マタニティ特別有給休暇付与、育休復帰リスタート応援金支給
- ・バースデー休暇制度
- ・介護目的の特別有給休暇付与

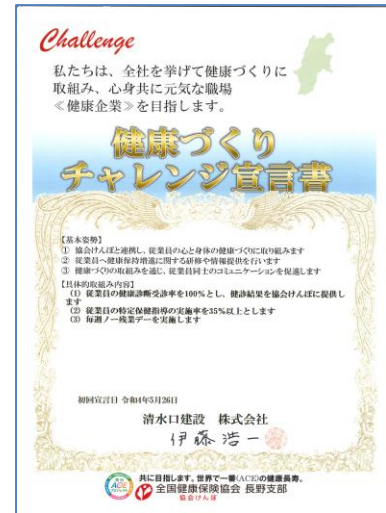
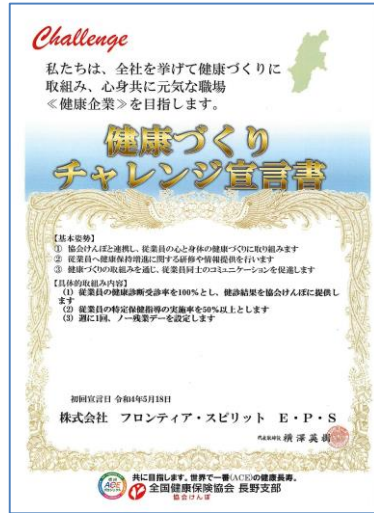
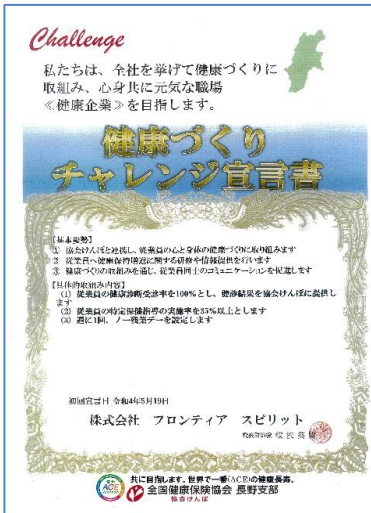
第5弾

- ・家族も安心応援制度 その4（カラダ自己管理制度）
- ・産業医の選任、カロママプラスの導入、禁煙デーの設定、ストレスチェックの実施、目指せAカラダ制度
- ・夢のその先へ応援制度
- ・資格取得支援制度、若手社員家賃補助、住宅購入お祝い金支給
- ・バースデー休暇制度

ステークホルダーへの取り組み

★社員とのかかわり

(株)フロンティア・スピリット、(株)フロンティア・スピリットE・P・S、清水口建設(株)は、「健康づくりチャレンジ宣言」をし、心身ともに元気な健康企業を目指します。



2022年度入社式

● 人材育成

フロンティア・スピリットでは、平成25年から定期的に新卒採用を実施しています。従来は即戦力を求めての中途採用が中心でしたが、新卒採用者は、経験豊富な先輩社員の教育のもと若いパワーを生かして活躍しています。またベテラン社員も定年後の再雇用制度により働きがいや、やりがいにつながり、社員教育にも高い意欲を持って取り組んでいます。

● 社内行事

恒例の社員旅行のほか毎年行われる松本ぼんぼんや焼肉会またソフトボール大会は、社員が楽しみにしている行事のひとつになっています。



松本ぼんぼん



ソフトボール大会

安全への取り組み

地域貢献の担い手として

全社員が能力を発揮できるように

安全で快適な職場環境づくりに努めています。

★ 安全衛生理念

～ 基本理念 ～

フロンティア・グループは産業廃棄物事業活動及び解体業務を通じて社会への貢献を図るとともに、社員の安全衛生の確保は企業の存立の基盤をなすものであり社会的責任であることを自覚する。よって人間の理念のもと「安全第一」・「快適な職場環境」を安全衛生活動の基本理念とする。

★ 安全衛生管理方針

～ 基本方針 ～

職場(現場)の安全を確保するルールづくりと仕組みづくりにより、安全意識の向上を図り、労働災害・交通事故”ゼロ”に挑戦する。

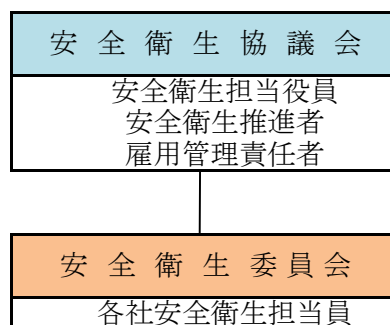
～ 目標 ～

ルール厳守と危険要因排除で安全に強い職場づくり・人づくり

～ 重点実施項目 ～

1. 安全教育の推進
2. 防災活動の推進
3. 健康管理
4. 安全衛生活動の充実

★安全衛生管理の組織体



★ 安全活動

フロンティア・スピリット本社・今井工場、フロンティア・スピリットE・P・S、清水口建設本社・工場 にAED(自動体外式除細動器)を設置し、社員はもとより近隣の方々の有事の際に備えています。



安全への取り組み

★安全衛生活動

安全は企業の価値と能力をあらわすバロメーターと考え、安全衛生大会をはじめ社員教育や健康管理など日々の安全を保つよう活動を行っています。

1) 安全衛生協議会及び大会

安全衛生協議会を月1回、安全衛生大会を年2回開催し、安全の取り組みの発表や安全パトロールを行い、意見交換や指摘を行います。



安全衛生大会

2) 安全衛生教育・訓練

安全衛生教育・訓練は、管理職をはじめ全ての社員を対象にビデオ教育等を行っております。

熱中症予防対策の安全衛生講習会も開催され、社員・協力会社全員の衛生面・健康面についても新たな知識や意識の高揚に役立っています。

訓練は環境マネジメントシステムの訓練と共に行われ、避難訓練と負傷者の救護訓練を行いました。

3) 社員教育制度

当グループは人材育成・品質向上を目的に個別の教育プランを作成し、免許・資格取得、社内外講習会への参加を積極的に行っております。

免許・資格・講習項目	人数	免許・資格・講習項目	人数
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	4	小型移動式クレーン運転技能講習	49
産業廃棄物焼却施設技術管理者	6	移動式クレーン運転技能講習	9
第一種衛生管理者	2	危険物取扱免状	12
1級建築士	3	特定化学物質作業主任者	8
1級建築施工管理技士	8	石綿作業主任者	21
2級建築施工管理技士	3	有機溶剤作業主任者	2
1級土木施工管理技士	15	土壤環境保全士	1
2級土木施工管理技士	32	ダイオキシン類ばく露防止作業指揮者	4
1級造園施工管理技士	3	特別管理産業廃棄物管理責任者	10
解体工事施工技士	18	一般毒物劇物取扱者	8
車両系建設機械(解体用)運転技能	61	建築物石綿含有建材調査者	14
職長教育	39	宅地建物取引士	2

フロンティア・グループの紹介

■ グループの歴史(平成18年まで)

- 平成 7年 8月 資本金1,000万円にて株式会社フロンティア・スピリット設立
- 平成 7年12月 長野県知事より産業廃棄物収集運搬業の許可を取得し事業を開始
- 平成 8年 5月 長野県知事より建設業(とび・土工工事業)の許可取得
- 平成 8年10月 長野県知事より特別産業廃棄物収集運搬業の許可を取得し事業を開始
- 平成10年11月 ダイオキシン対策を強化した中南信地区最大規模の大型焼却炉を建設、運転開始
長野県知事より産業廃棄物処分業許可を取得し事業を開始
- 平成13年 7月 国際環境規格ISO14001を認証取得
- 平成13年11月 資本金を3,000万円に増資
- 平成14年10月 塩尻市金井に無機汚泥の再生処理施設を建設、運転を開始
- 平成14年10月 (株)エコロジカル・サポートに社名変更。医療系廃棄物を主に事業を開始
- 平成15年 2月 (株)環境科学を設立。計量・測定を主に事業を開始
- 平成16年 3月 (株)フロンティア・スピリットが長野県と産業廃棄物減量化・適正処理実践協定書を締結
- 平成16年 4月 (株)フロンティア・スピリットが松本市の一般廃棄物収集運搬業の許可を取得
- 平成16年 7月 (株)フロンティア・スピリット、(株)エコロジカル・サポート、(株)環境科学が松本市和田に事務機能を一部移転
- 平成16年 9月 (株)フロンティア・スピリットE・P・Sを資本金1,000万円にて設立
産業廃棄物収集運搬事業等を開始
- 平成17年 3月 (株)フロンティア・スピリットの再生砕石(RC40-0)が、第一回の長野県『信州リサイクル製品』の認定取得
- 平成17年 9月 (株)エコループ・トランスポートを資本金1,000万円にて設立
産業廃棄物収集運搬事業を開始
- 平成17年12月 (株)フロンティア・スピリットで塩尻市金井にリサイクル施設『エコプラント塩尻』を建設
破砕・減容固化処理等のリサイクル施設の運転開始
- 平成18年 5月 (株)フロンティア・スピリット特定建設業許可取得
(株)エコロジカル・サポート、(株)環境科学 国際環境規格ISO14001を認証取得

フロンティア・グループの紹介

■ グループの歴史(平成19年以降)

平成19年 5月	(株)フロンティア・スピリットの『エコプラント塩尻』を分社化、 (株)フロンティア・スピリットE・P・Sに譲渡し新たに処分業許可を取得、及び稼働
平成20年 3月	(株)フロンティア・スピリットE・P・S 資本金2,000万に増資
平成22年 3月	(株)エコロジカル・サポート(株)環境科学が松本市笹賀に事務所を移転
平成22年 8月	(株)フロンティア・スピリット、(株)フロンティア・スピリットE・P・S金属くず商許可取得 清水口建設(株)がフロンティア・グループに加入
平成23年 6月	(株)エコロジカル・サポート金属くず商許可取得
平成23年 8月	(株)フロンティア・スピリット代表取締役役に横沢英樹が就任
平成24年 1月	(株)エコロジカル・サポートが産業廃棄物処分業優良事業者の認定を取得
平成25年 7月	(株)フロンティア・スピリット松本市和田に本社を移転
平成25年 3月	(株)エコロジカル・サポート新規中間処理(破碎・圧縮梱包・圧縮)許可取得
平成25年11月	(株)フロンティア・スピリットが産業廃棄物処分業優良事業者の認定を取得
平成26年 9月	清水口建設(株)が松本市優良建設工事表彰を受賞
平成28年 1月	(株)エコロジカル・サポート扇子田工場に中間処理(破碎・圧縮梱包・圧縮)施設を移転
平成28年 8月	(株)フロンティア・スピリット埴科郡坂城町に積替保管施設の許可認証
平成29年 5月	(株)フロンティア・スピリット坂城町の積替保管施設を本格稼働
令和 2年10月	清水口建設(株)が松本市優良建設工事表彰を受賞
令和 2年11月	(株)フロンティア・スピリットE・P・S 塩尻市金井の敷地内に新事務所が完成
令和 3年 4月	(株)エコロジカル・サポート代表取締役役に村井連峰が就任
令和 3年 9月	(株)エコロジカル・サポート焼却施設の建て替え、新規焼却炉(31.2t炉)稼働開始
令和 3年 10月	清水口建設(株)が松本市優良建設工事表彰を受賞
令和 4年 7月	(株)フロンティア・スピリットE・P・S 資本金3,000万に増資
令和 4年 8月	(株)環境科学代表取締役役に村井連峰が就任
令和 4年 9月	(株)フロンティア・スピリット今井工場にて新焼却炉建設開始
令和 4年 10月	清水口建設(株)が松本市優良建設工事表彰を受賞

フロンティア・グループの紹介

■ グループ企業概要



(株)フロンティア・スピリット

代表者 代表取締役 横沢 英樹
 資本金 3,000万円
 設立 平成7年8月
 従業員数 79名

(株)フロンティア・スピリットE・P・S

代表者 代表取締役 横沢 英樹
 資本金 3,000万円
 設立 平成16年9月
 従業員数 44名

(株)エコロジカル・サポート

代表者 代表取締役 村井 連峰
 資本金 1,000万円
 設立 平成5年9月
 (平成14年現在の社名に変更)
 従業員数 32名

(株)環境科学

代表者 代表取締役 村井 連峰
 資本金 1,000万円
 設立 平成15年2月
 従業員数 6名

(株)エコループ・トランスポート

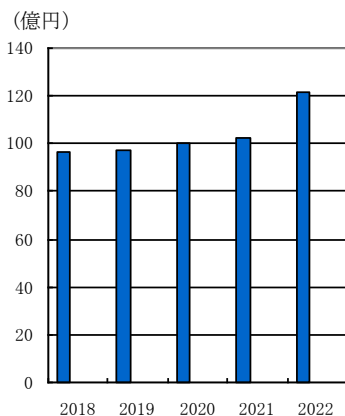
代表者 代表取締役 矢倉 充
 資本金 1,000万円
 設立 平成17年9月
 従業員数 6名

清水口建設(株)

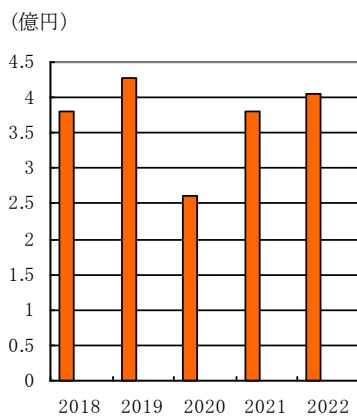
代表者 代表取締役 伊藤 浩一
 資本金 5,000万円
 設立 昭和43年1月
 従業員数 38名



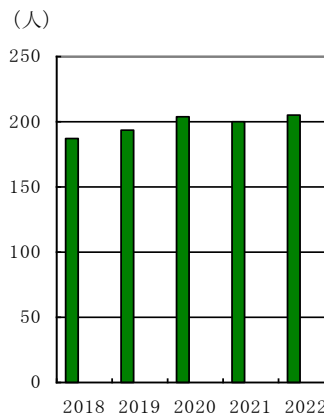
グループ売上高



グループ当期経常利益



グループ従業員数



フロンティア・グループの紹介

株式会社 フロンティア・スピリット

TRANSPORTATION



FIRE TECHNOLOGY



DISMEMBER



RECYCLE



CLEANING



株式会社フロンティア・スピリット
代表取締役 横沢 英樹

会社概要

- 【商号】 株式会社 フロンティア・スピリット
- 【設立】 平成7年 8月
- 【所在地】 本社
〒390-1242 長野県松本市大字和田4709番地
TEL 0263-40-0530 FAX 0263-48-0538
今井工場
〒390-1131 長野県松本市大字今井4957番地
TEL 0263-86-2831 FAX 0263-86-3451
坂城積替保管施設
〒389-0603 長野県埴科郡坂城町大字南条795番地
- 【資本金】 3,000万円
- 【代表者】 代表取締役 横沢 英樹
- 【事業内容】 産業廃棄物の収集・運搬・処理・処分業
一般廃棄物の収集・運搬業
建物及び建築物の解体工事業
建築工事・土木事業
とび・土工・コンクリート工事業
下水管・貯水槽・汚水処理施設他 各種清掃・洗浄業務
汚染土壌・地中障害物の対策事業
- 【許認可】 産業廃棄物処分業
特別管理産業廃棄物処分業
産業廃棄物収集運搬業
長野県・山梨県・東京都・新潟県・岐阜県・群馬県・愛知県
埼玉県
特別管理産業廃棄物収集運搬業
長野県・山梨県
一般廃棄物の収集運搬業
特定建設業
土木工事業、とび・土工工事業



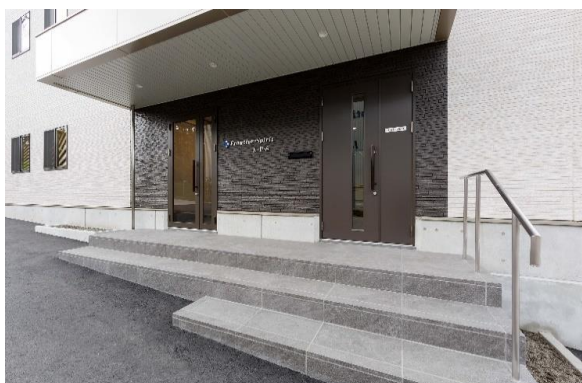
FRONTIER SPIRIT

株式会社 フロンティア・スピリット

<https://f-spirit.jp/>

フロンティア・グループの紹介

株式会社 フロンティア・スピリットE・P・S



フロンティア・スピリットE・P・S事務所



株式会社フロンティア・スピリットE・P・S
代表取締役 横沢 英樹



破砕・減容固化施設 (RPF)



汚泥保管施設



金井リサイクル環境公園

会社概要

- 【商号】 株式会社 フロンティア・スピリットE・P・S
- 【設立】 平成16年 9月
- 【所在地】 本社事務所
〒399-0721 長野県塩尻市大字金井731番地3
TEL 0263-56-2280 FAX 0263-56-2292
本社工場
〒399-0721 長野県塩尻市大字金井729番地
TEL 0263-56-2280 FAX 0263-56-2292
- 【資本金】 3,000万円
- 【代表者】 代表取締役 横沢 英樹
- 【事業内容】 産業廃棄物の収集運搬業
産業廃棄物の処分業
建設用資材の販売
とび・土工事業
建物及び建築物の解体工事
- 【許認可】 産業廃棄物処分業
産業廃棄物収集運搬業
長野県、岐阜県、山梨県
建設業
とび・土工事業

新焼却炉が竣工し、稼働後1年が経ちました。コロナ禍での医療廃棄物増加により当初予定よりだいぶ早く稼働率90%を超えることになりました。また現在も県内外問わず処理難物の問い合わせが多くあり特別管理産業廃棄物処分業の必要性を改めて認識させられます。

弊社は、創業以来今日まで常に廃棄物の適正処理と循環型社会の形成促進そして顧客満足の追及に迅速かつ的確に対応することで発展して参りました。

各地で起こる廃棄物関連の不適正処理は、廃棄物業界の品位・評価の低下に繋がる由々しき問題であり、業界全体としてイメージ回復に取り組まなければならないと思っております。

そこで弊社に於いては、コンプライアンスを基盤とした企業統治をより徹底することにより、強固な防壁を確立し、事業の自律性を更に高めると共に、お客様を筆頭とした利害関係者の方々との信頼関係を今以上に深化させて参ります。

また、社員教育の徹底により環境問題・環境課題を全社員が自責問題として捉え、その解決に向け改革改善に図り取り組んでいくことが、社会に信頼されお客様に満足して頂けることに繋がると信じて、私たちは日々挑戦を続けます。環境マネジメントと優良認定制度への取り組みを継続し、長野県の美しい自然環境を後世の子供たちに残していくための社会貢献が出来ればと思っております。

「人と環境に優しい」高度循環型社会を目指して、CSR(企業の社会的責任)の重要性を認識し、コンプライアンス(法令順守)をモットーにハード・ソフトの両面から顧客ニーズに対応した【共感のサービス】を目指して日々活動を行って参ります。



株式会社エコロジカル・サポート
代表取締役 村井 連峰

会社概要

- 【商号】 株式会社 エコロジカル・サポート
- 【設立】 平成5年9月22日(平成14年4月15日現在の社名に変更)
- 【所在地】 本社事務所
〒399-0033 長野県松本市大字笹賀7170番地3
TEL 0263-86-7585 FAX 0263-86-0222
焼却工場
〒399-0033 長野県松本市大字笹賀7159番地1
扇子田工場(破碎・圧縮・圧縮梱包)
〒390-1401 長野県松本市波田字扇子田66番19
- 【資本金】 1,000万円
- 【代表者】 代表取締役 村井 連峰
- 【事業内容】 産業廃棄物収集運搬及び処分業
特別管理産業廃棄物収集運搬及び処分業
一般廃棄物収集運搬及び処分業(松本市・安曇野市)
古物商・金属商・遺品整理業
建設業(土木、とび・土工、解体)
- 【許認可】 産業廃棄物処分業許可
松本市 産業廃棄物処分業 13620100447号
松本市 特別管理産業廃棄物処分業13670100447号
産業廃棄物収集運搬業許可
長野県 東京都 埼玉県 山梨県 岐阜県
群馬県 神奈川県 愛知県 新潟県 富山県
京都府 静岡県 三重県 石川県
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可
長野県 東京都 埼玉県 山梨県 岐阜県
群馬県 神奈川県 愛知県 新潟県 京都府
一般廃棄物処分業許可(松本市)
一般廃棄物収集運搬業許可(松本市、安曇野市)

URL <https://www.ecological-support.co.jp>

優良産廃処理業者認定企業としての責任

特別管理産廃棄物処理無害化への挑戦

エコロジカル・サポートでは、県内医療機関400社以上をお取引様を持ち、特別管理産業廃棄物を安心できる状態に無害化しております。

固形状の廃棄物から液状廃棄物までの処理を行える中信地区唯一の処分会社であります。



焼却工場(31.2tストーカー炉)
(2021年9月稼働開始)

さらなる環境負荷低減の取り組みとして最新鋭焼却施設へバトンタッチいたしました。新施設は水冷式と耐火キャスタの組み合わせにより高カロリー廃棄物と処理困難物の処理に適しているのが特徴です。処理能力も大幅に向上し、産業廃棄物はもとより新たに一般廃棄物の焼却受け入れも可能になりました。

松本市街地に位置するエコロジカル・サポートでは、ステークホルダーである地域住民の皆様に対して毎年工場視察を行っております。



扇子田工場
(破碎・圧縮・圧縮梱包施設)



第二工場(積替保管施設)



農業や廃試薬品類などの処理困難物を適法に処理するお手伝いをいたします。



本社事務所



感染性廃棄物用容器



ECOLOGICAL
SUPPORT Co.,Ltd.



ECC

フロンティア・グループの紹介

株式会社 環境科学

本年より代表に就任することとなりました。社業発展のため全力を尽くす所存でございます。何卒、これまで同様ご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。

私たちは、生きていくうえで生活活動・事業活動等の様々な活動で生産・消費・再利用・廃棄等を行い、環境影響に直接関わっております。

弊社ではそのような関わりを測定・分析・試験・調査等を通して数値(数量)化して目に見えるもの(形)にするお手伝いをさせていただきます。

主なところでは、水質検査・大気測定・土壌調査・作業環境測定等、物質では、ダイオキシン・アスベスト・農薬・放射線等環境に関係するものについて幅広いニーズにお答え出来るよう努めております。

特に近年ではアスベストに関する法改正が行われ規制が厳しくなっており分析業務というものが重要になってきています。グループを始め様々なお客様のニーズに応えられるよう力を入れ今後を見通した展開ができればと思います。

「美しい環境は未来のために」

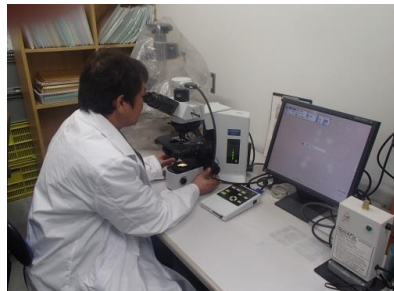
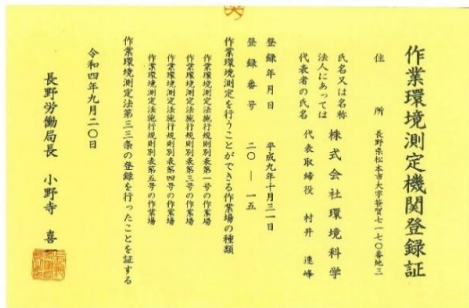


株式会社環境科学
代表取締役 村井 連峰

会社概要

- 【商号】 株式会社 環境科学
- 【設立】 平成15年2月3日
- 【所在地】 本社・分析センター
〒399-0033 長野県松本市大字笹賀7170番地3
TEL 0263-88-8808 FAX 0263-88-8807
- 【資本金】 1,000万円
- 【代表者】 代表取締役 村井 連峰
- 【事業内容】 作業環境測定機関(20-15号)
及び
土壌汚染調査機関(環2003-4-1055)
- 【許認可】 環境計量証明事業
(濃度第41、騒音第80、振動第81)
温泉成分分析機関(長野県第5号)
建設物飲料水水質検査業(長野県15水第36号)
建設物飲料水水槽清掃業(長野県15貯167号)
建設物空気環境測定業(長野県15空40号)

URL <https://kankyo-kagaku.net/>



フロンティア・グループの紹介

株式会社 エコループ・トランスポート

弊社は、産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を含む)及び一般廃棄物の収集運搬業を営んでおります。

排出事業者様の多様なご依頼にお応えできるよう、多数のエリアでの収集運搬業許可を取得しております。

廃棄物の性状・数量等 多岐に渡り対応いたします。ご依頼頂けましたら、お伺いしお見積させていただきます。



株式会社エコループ・トランスポート
代表取締役 矢倉 充

大型ダンプ車(40^m)大型コンテナ車(37^m、30^m)から
ステーションワゴンまで多岐に亘り対応いたします。



会社概要

- 【商号】 株式会社 エコループ・トランスポート
- 【設立】 平成17年 9月
- 【所在地】 本社事業所
〒390-1242 長野県松本市大字和田4709番地
TEL 0263-40-3111 FAX 0263-40-3113
- 【資本金】 1,000万円
- 【代表者】 代表取締役 矢倉 充
- 【事業内容】 産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業
廃棄物リサイクル品運搬
- 【許認可】 産業廃棄物収集運搬業
長野県 2004123724 ・ 東京都 13-00-123724
神奈川県 1406123724 ・ 埼玉県 1102123724
群馬県 01000123724 ・ 栃木県 00900123724
山梨県 1900123724 ・ 新潟県 1509123724
福井県 1807123724 ・ 富山県 01603123724
岐阜県 2100123724 ・ 愛知県 02300123724
静岡県 02201123724 ・ 三重県 2400123724
奈良県 2900123724 ・ 大阪府 02700123724
京都府 02600123724 ・ 兵庫県 02808123724
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
長野県 2054123724 ・ 山梨県 1950123724
愛知県 02350123724 ・ 三重県 2450123724
奈良県 2950123724 ・ 神戸市 6950123724

フロンティア・グループの紹介

清水口建設株式会社

弊社は、かけがいのない地球環境を守る為に廃棄物を再利用し、資源を有効活用する「循環型社会」の構築を目指しております。

土木・建築・解体から産業廃棄物処理・リサイクルまでを事業形態とし、『循環型総合建設業』として公共事業から民間事業まで幅広い分野で信頼性の高い技術と実績でお客様と時代のニーズにお応えいたします。自然との調和を大切にしながら、次世代の子供たちが安心して暮らせる環境を守り、豊かな未来を築くことが使命だと考え真摯に取り組んでまいります。



清水口建設株式会社
代表取締役 伊藤 浩一



会社概要

- 【商号】 清水口建設 株式会社
- 【設立】 昭和43年 1月
- 【所在地】 本社
〒390-1242 長野県松本市大字和田4705番地3
TEL 0263-47-7000 FAX 0263-47-0753
リサイクルセンター
〒390-0851 長野県松本市大字島内910番地
TEL 0263-40-4400 FAX 0263-40-4141
- 【資本金】 5,000万円
- 【代表者】 代表取締役 伊藤 浩一
- 【事業内容】 総合建設業(土木・建築・解体)
一般廃棄物の収集・運搬・処分
産業廃棄物の収集・運搬・処分
- 【許認可】 建設業
土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、しゅんせつ工事業、舗装工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業、大工工事業、左官工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業
産業廃棄物収集運搬業
長野県・新潟県・山梨県
産業廃棄物処分業

URL <https://www.shimizuguchi.com/>

【環境レポート 2023】へご意見・ご感想をお寄せください

環境レポート2023をご覧いただき、ありがとうございました。

皆様からのご意見ご指摘を今後の環境活動に生かしていきたいと思えます。

ご意見・ご感想を下記連絡先へご一報いただければ幸いと存じます。

お問合せ先

フロンティア・グループ『環境レポート』作成委員会係

TEL (0263) 40-0530 FAX (0263) 48-0538

担当者Eメール : k.makinouchi@f-spirit.jp

〈編集後記〉

環境レポートは、まだまだ内容不十分な箇所等、改善の余地があると自覚しております。

引き続き、読む方の立場に立ったレポートとなるべく改善を進めてまいります。

ご協力を頂いた方に感謝申し上げます。

《お詫び》 第三者検証におきましては、省いたかたちになっておりますが費用面と効果面を検討して今後の課題とさせていただきます。

フロンティア・グループ環境レポート作成委員会

牧之内 健
小林 大樹
塚本 一憲
神谷 高志

小沢 秋則
小澤 浩
丸山 匡昭
吉田 寛

矢倉 充
高橋 和典